

## 国際地域イノベーター人材養成プログラム 科目概要

### ②ダイバーシティコミュニティ論

北海道教育大学函館校  
准教授 佐藤 香織

2021年度から新設された「ダイバーシティコミュニティ論I・II」は、「国際地域イノベーター人材養成プログラム」(以下「国プロ」)の「共通科目」であり、国プロ履修生の必修科目である。本稿では本科目の概要について述べる。

本科目の到達目標の1つ目は、「国プロ専攻科目に進むうえで必要とされる多様性の概念を各分野

からアプローチすることによって、理解を深める」ことである。本科目では、函館校を中心とする複数の教員が、それぞれの専門分野から多様性についての講義を行う。なぜ多様性を大切にしなければならないのか、それが地域にイノベーションを起こすこととどう関わるのか、ということについて、受講生が考えを深められるような構成となっている。具体的なスケジュールと授業内容を表1で示す。

**表1 2021年度「ダイバーシティコミュニティ論I・II」授業内容とスケジュール**

	担当教員	授業内容
10/1	五十嵐靖夫 佐藤香織	「ダイバーシティコミュニティ論I」のガイダンス
10/8	五十嵐靖夫	発達障害とニューロダイバーシティ
10/15	木村育恵	ジェンダー視点の主流化の重要性
10/22	齋藤暢一朗 (札幌校)	不登校とひきこもり：その重なりと違いから考える地域支援の可能性
10/29	森谷康文	多文化共生の欺瞞・消費されるダイバーシティ
11/5	古地順一郎	多様性に配慮した公共政策
11/12	尹珍喜	北朝鮮を離れて暮らす脱北者から多様性を考える
11/19	佐藤香織	グループディスカッション
11/26	五十嵐靖夫 金鉉善	「ダイバーシティコミュニティ論II」のガイダンス
12/3	石井洋	教育の画一性から多様性へ
12/10	西宮宜昭	技術者から見た多様性とその必要性
12/17	有井晴香	アフリカでの出会いと異文化交流
12/24	落合絵美 (岐阜大学)	移民国家シンガポールを通して考える多様性と統制
1/7日	廣畑圭介	障害者とソーシャルインクルージョン
1月21日	金鉉善	グループディスカッション
1月28日	金鉉善	全体のまとめ

本科目の到達目標の2つ目は、「国プロにおける『ダイバーシティ』の範囲を定めて、さまざまな背景を持つ住民が住みやすい地域とはどのようなものかを導き出す」ことである。多様性に配慮した社会とは、「全ての人にとって『やさしい』社会である」ということを受講生には常に心に留めてもらいたい。また、受講生たちは本科目を履修後、「日本語学習支援」、「地域づくり」のそれぞれの専攻に分かれ、最終的には地域で実習を行い、さまざまな背景を持つ地域の方々から、たくさんのことを学ばせてもらうことになる。その際には、相手の立場への想像力や謙虚な姿勢が欠かせない。本科目での

学びは、必ずやその際の糧になるだろう。

2021年度は、本科目を87名の1年生が履修した。新型コロナウイルス感染症対策のため、講義は基本的に遠隔授業（動画配信かZoomによる同時双方向授業）にて行ったが、11月19日のグループディスカッションは、2つの教室を使い、対面で行うことができた。どのグループでも、真摯に議論する受講生の姿が見られ、本科目の内容が受講生の確かな学びと成長につながっていることを確信した。来年度もさらに充実した内容となるように努めていきたい。

